

鶴川西地区統合新設小学校の基本設計における配置案について

鶴川西地区統合新設小学校(鶴川中央小学校)では、隈研吾建築都市設計事務所と 2024 年 10 月から基本設計を開始しています。この度、基本設計のベースとなる建物の配置案を作成しましたので、報告します。

1 配置案について

2022 年度に作成した「鶴川西地区小学校新たな学校づくり建設基本計画」の際に皆さまからいただいた考え方を踏まえ、別紙1に図示しているA案・B案・C案で検討をしました。各配置案について、下記の配置比較表のとおり比較をし、とおり比較検討を行った結果、C案をベースとして設計を進めていくことにしました。

詳細な図面については別紙1をご覧ください。なお、教室などの諸室の位置、地域開放区画の範囲などの内部の構成については、今後 検討を進めていきます。

2 配置比較表

	建物配置	A 案	B 案	C 案
	評価項目		3 階	3 階 (プール 4 階)
比較ポイント	動線	△	○	△
		各案は 3 階建てのため、教室移動の動線は短くなり、より B 案は体育館が一体のため、移動動線が短い。		
	採光	○	△	△
		A 案は全普通教室が南側採光となる。B,C 案は一部普通教室が東側採光となる		
	校庭	×	△	○
		C 案は校庭と鶴の台が一体的となり、校庭面積も大きく確保できている。		
環境負荷	△	△	○	
	C 案は西日の影響を受ける外皮面積が小さいため、環境負荷の影響を受けにくい。			
近隣への影響	○	△	○	
	A、C 案が日影の影響を最小限に抑えられる。			
C 案の総評	北側に配置されている鶴の台と校庭の一体的な活用のしやすさや、学校部分と地域開放部分の区画しやすさが実現しやすい建物計画及び配置案となっている。			